

ひるば大代

平成元5.1

大代公民館

同和教育で自覚するもの

公民館運営委員長 田辺 孝

一 人間のいのち

善良な市民でありながら、差別やいじめにもとずく貧困のため健全なくらしが阻害され、生きる権利までおびやかされている人はいないだろうか。

もしあるとすれば、これら悪条件を見つけ改善につとめながら、だけれども、「自分のいのちも人のいのちもかけがえないものとして大切にし、生きる権利を堂々と主張できる人間」になるために同和教育は推進されていくのです。

私たちのいのちは、かけがえのないのちです。だから「いのちあつての物種」という考え方を骨のズイまでしみ通らせたものです。

死んだらあかん (四年生)

お母さんがしんどそうや

胃がいたいのだ

「なでたげようか。」

「純子の手がいちばんいい気持ちや。」

お母さんが病気になる

死なへんかと心配する。

照子さんのお父さんも

あきひさくんのお父さんも

さとえさんのお父さんも

死なはった。

世の中に同じ人はない。

死んだら、もうおしまいだ。

みんな、

死なないようにがんばろう。

まだまだ、

いろんなこと、

いっぱいしなければならぬ。

自分が病氣したりケガしたりした時

はいうまでもなく、家族、級友などが

病氣やケガをした時は、体のこと、健康のこと、生命のことについて見つめ

たり、考えたりさせる大切な機会です

それを個人のことにとどめておかない

で、みんなの問題として、どうしてあ

げられるかを話し合つて支え、また力

となつていこうとするところに同和教育

のあり方があるのです。

(一) 生きる権利の主張

▼平和への願い

人間の生命をおびやかす最大の敵は

戦争です。戦争放棄、平和建設への意

欲を育てることは、日常の教育の中で

また、あらゆる機会を生かして、くり

かえし積みあげていかなければなりま

せん。だれがなんといおうと、どれほ

どコトバたくみに宣伝されようと、自

分の頭で判断して、「戦争はいやだ。」

「死んだらおしまい」と主張できる私

たちにならなければなりません。

(次回も生き権利の主張)

一隅を照らす生徒の育成を

中学校長 今田 善行

三年ぶりに大代中学校へ帰ってきました。高山は相変わらずどっしりとそびえ、四囲の自然は三年前と少しも変わりません。が、生徒は半分以下になつていました。

年々歳々花相似たり

歳々年々人同じからず

思わずこの漢詩が、口からこぼれま

した。

私を迎えてくれた生徒たちの顔は、

明るさに満ち、純朴そのものでした。

学校は小さくとも、やはり大代中学

杉は「日本一心またたきる雲団氣を掲つ学校だとあらためて感じました。

比叡山延暦寺を開いた伝教大師最澄は「一隅を照らす者、是れ国宝也」と山家学生式の中で述べています。

今、二十一世紀を志向する教育において、「心の豊かさ」が求められ、心の教育が叫ばれております。まさに最澄のいう「一隅を照らす者」を育成することこそが、平成時代の教育の課題であると考えます。

この意味において、大代中学校の生徒は、「国の宝」であり、心あたたまる生徒を育てて下さっている、地域の人々はすばらしいと思います。

自然に生まれ、大と人とのふれあいが大切にされる環境で、若いやる気十分の先生方に囲まれて毎日が送れる私は幸福だとしみじみ感じます。

大田市の同和教育の指定を受け、また大田市教育研究大会等での授業、発表もあり、保護者、地域の皆様の御協力、ご指導をいただくことになりましたが、よろしくお願い申し上げます。

十六名の生徒、九名の教職員、PTAの方々そして地域の皆さんと一体と

なつて、国の宝となる生徒を育成していききたいと思ひます。

大代小学校に着任して

小学校校長 川上 光久

この四月の定期異動により、美濃郡美都町立二川小学校（大社町出身）から昇進転任してまいりました。歴史の古さを感じさせる大代の地、先輩諸氏が築きあげられた伝統の足跡をこの目で見た時、大代小学校の校長としての責務の重さをひしひしと感じました。

四月のある日、八時十分から体力づくりの朝ランニングで始まり、音楽朝礼、一時間目は全校児童と全職員で円形花だんハサクラ草植え・斜め花だんの草とり、昼休み後の一心の時間・掃除と大代小学校独特の活動がノーチャームでとんとんと進められていきました。

花づくり、卓球、JRC活動……と見るにつけ、聞くにつけ驚かされることばかりです。

こうしたすばらしい伝統のある学校の校長として勤めさせていただくこと

は厚い責任を感じています。これまで大切にしながら誠心誠意努力する覚悟です。よろしくお願ひいたします。

ところで、本年度は、大田・瀬摩教育研究大会が三中ブロックの学校を会場として開催され、大代小学校は算数科の会場を引き受けることになっていきます。そこで、本年度は全職員一丸となつて算数科の研究に取り組んでまいります。そのほか、ご存知のように、二か年継続の同和教育研究指定も受けています。また、新教育課程実施年度も近ずき、序々に、その趣旨を生かした指導も考えなければなりません。

こうした教育を推進していくために今後益々、学校と家庭、さらには地域との連携が必要になってまいります。皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

5月少年健全育成指標
子供達が育つ環境を

皆で考えよう！



健康

日本海新聞 (63.12.24)

一脳卒中対策の飲みもの

(再掲)

これは国分市の養護老人ホーム慶昌園で体験しているという事で、国分市や単人方面で大変評判になっていて、うです。数千人の人が試されそのことごとくが健在であると言う実験済みだそうです。

(1) 鶏卵一個 (白身だけ)

(2) ふきの葉の汁、小さじ三杯 (ふきの葉の生を三、四枚きざんですりつぶしそれをこした汁) つわぶきは駄目です。

(3) 清酒小さじ三杯 (焼酎は駄目)

(4) 梅漬け一個をすりつぶす (土用干しした梅は駄目) 青梅の塩はデパトにあり、塩漬けにしてやわらかくなったもの

※注意・製法は必ず番号順に入れる事出来るだけ一品を入れる毎によく書き混ぜる事。梅を塩漬けする入梅の六月頃には、ふきも梅も手に入ります。

この飲みものは、一生に一度飲むだけでよい (何度飲まれてもよい)

この資料は福岡市の小学長会で配布されたもので貴重な資料です。以前ひろばでも御知らせした事もあります。御近所の方を始め一度ぜひお試し下さい。米子市石井四〇二〜四四木下克一

お世話になって三十年

後藤 マサエ

三十年近く続いた電気料金集金業務が四月より自動払込みに移行いたしました。これ迄の業務に得ました資金は婦人会活動に役立たせていただきましたことを町民の皆様には厚くお礼申し上げます。又この度の手続きにもご協力いただきました中電より感謝状と退職金をいただきました。会員の希望により各支部へ少々分ちあつて会員の行動力と知恵の源になることを願っております。又年々高齢化が進み私もたつた今敬老会によばれる年になります。会員が少ないのでどなたがお世話を下さるのか不安でなりません。敬老会も続けていたいただきたいです。どうぞ現状を理解いただいでご本人

は勿論家長さん自治会長さんのおすすめ言葉はこの「ひろば」をとおしてお願ひするものでございます。平成元年を記念して入会して下さい。

そして新しい人との出会いを大切に心のぬくもりを得たいものです。

生活のしるべ

一知っておきたい酔の利用

渡 敏昭

乗りもの酔いは酔を飲む

楽しい旅行も乗り物酔いをする人にとっては苦痛でしかありませんし、まわりの人にも迷惑です。酔いは気分の持ち方によつて大分違います。酔つてしまつたら、水に酔をたらして飲んでみましょう。気分がすっきりして気持ちよくなります。

寝つかれない時は酔を飲むと眠れる神経が疲れたときや心配ごとがある時など、気持ちが高ぶつて寝つれず困つた時には大きじ一杯の酔を飲んでみましょう。不思議と安眠ができるようです。また水虫の人は患部を一日数回酔につけることを毎日続けますと直ります。カビは酔に弱いからです。